

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

<教育方針>

豊かな情操と気品ある人格を育み、これからの社会を支える健全な精神を持つ若者を育成する。
 「情操」とは、美しいものや優れたものに対して素直に感動できる心。相手の良いところに気づき、相手を敬うことができる力
 「気品」とは、落ち着いた振舞い、優しい気持ちで人と接することのできる精神的な美しさ

<夕陽丘教育の4つの柱>

- 1 自ら考え、行動できるように自主自律の心を育む学校
- 2 幅広い教養を身に付け、一人ひとりが自己実現を達成できる力を養う学校
- 3 国際的視野をもち、社会の変化に対応できるグローバル人材を育成する学校
- 4 国内最高レベルの音楽教育を推進する学校

2 中期的目標

- 全ての教育活動に「自主・自律」、「グローバル」の観点を取り入れる。
- 3SK【SEIRI、SEITON、SEISOU、KIKIKANNRI】で学力向上と働き方改革を推進する。

1 豊かな人間性の涵養と「自主・自律」の心を育む

(1) 基本的な生活習慣を確立し、学業及び行事に主体的・協働的に取り組む。

- ア 学生自治を基本に、学校生活・行事・部活動に主体的・協働的に取り組み、快活な学生を育てる。
 ※自己診断生徒 95% (R1:93.6%,R2:95.5%,R3:97.5%)
- イ 身近な事柄を通じて、他者理解や思いやりの心など豊かな人間性を身につける。
 ※自己診断生徒 95% (R1:96.0%,R2:94.4%,R3:95.6%)
- ウ 道徳教育推進教師を中心に、道徳教育の充実を図る。
 ※自己診断生徒 80% (R1:85.3%,R2:79.3%,R3:85.6%)

(2) 学校、保護者、地域が一体となって安心安全で温もりのある学校・街づくりに参画する。

- ア 「こころの再生」にかかるあいさつ、学校・地域のクリーンアップ、高齢者施設、病院との交流活動を行う。
 ※自己診断生徒 95% (R1:95.1%,R2:94.2%,R3:96.3%)
- イ 教育相談・支援体制を充実させるとともに、家庭、専門人材、外部機関等と連携し、生徒一人ひとりに応じた教育活動を推進する。
 ※自己診断生徒 85% (R1:82.5%,R2:84.6%,R3:87.0%)
- ウ 「夕陽丘高校いじめ防止基本方針」に基づき、学校全体でいじめの未然防止、早期発見・早期解決に取り組む。
 ※自己診断生徒 85% (R1:86.0%,R2:84.7%,R3:91.1%)
- エ 防犯・防災を含む危機管理体制、3SKを日常化し、安心安全な教育環境を整える。
 ※自己診断生徒 80% (R1:85.9%,R2:80.9%,R3:90.4%)

2 基礎学力を充実させ、「夢」や「志」を育み自己実現を達成できる力を養う

(1) 学習指導要領を踏まえ、カリキュラム・マネジメントを確立し、「確かな学力」を育成する。

- ア 総合的な探究の時間「夕陽学」を軸に、各教科・行事等の教育活動をつなぎ、学校における「協働」を実現する。
 ※自己診断教員 85% (R1:84.0%,R2:84.8%,R3:88.3%)
- イ 学習指導要領を踏まえ、更なる授業の充実を図る。
 ※自己診断教員 80% (R1:80.0%,R2:86.9%,R3:73.6%)
- ウ 1人1台端末を効果的に活用し、「主体的対話的な深い学び」の実現と授業改善につなげる。
 ※自己診断教員 95% (R1:94.0%,R2:95.6%,R3:100%)
- エ コロナ禍などの非常時における休業等を踏まえ、オンライン等のネットワークを介して自律的な学びを高める。
 ※自己診断生徒 60% (R2:46.5%,R3:61.8%)

(2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。

- ア 各学年の生徒に応じた進路の取組みを行う。 ※自己診断生徒 85% (H30:83.6%,R1:84.1%,R2:84.9%,R3:90.9%)
 ※志望校決定率 70%以上 (R2:75.6%)、国公立・関西5私大(関関同立近大) 250名合格 (R2:344名,R3:371)
- イ 3SKで学力向上と働き方改革を推進する。

3 国際的な視野を広げ、グローバルに活躍できる人材を育成する

(1) 海外研修や授業等を通じて、多様性を理解するとともに、自身のキャリアデザインを考える。

- ア 海外修学旅行、ニューヨーク語学研修、ウィーン音楽研修を継続発展する。
- イ グローバルに使える力として多様性・英語の4技能をバランスよく育成する。
 ※英語学力調査のスコア 65%、英検合格 40名 (R3:英語学力調査のスコア1年未受験,2年65.3%、英検2級合格者56名)

(2) 国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する。

- ア 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、日々の学習活動と関連をもたせ、国際交流の内容を深化する。
- イ SDGsをテーマに、生徒の主体的な取組み及び国際交流の活動(オンラインによる国際交流活動を含む。)を学校全体で計画的に行う。
 ※自己診断生徒 95% (H30:89.6%,R1:93.6%,R2:72.8%,R3:75.3%)

4 府内公立唯一の音楽科設置校として、国内最高の音楽教育を推進する

(1) 国や府の推進事業等を積極的に活用し、国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。

- ア 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を取り入れる。
- イ 一流の指揮者を招聘して、ザ・シンフォニーホールでの定期演奏会等を企画・実現する。

(2) 生徒等の企画運営による学内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。

- ア 校内のヴィオラホール等を活用して、また、近隣ホール・小学校、地域での音楽会を実施する。

(3) 国内及び海外の大学等と連携し、交流を促進する。

- ア 大阪教育大学、台湾、オーストリア、ハワイの学校と交流を継続する。

5 広報活動の充実

- (1) 上の1～4の中期的目標の成果を効果的に発信する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 4 年 11 月実施分]	学校運営協議会からの意見																																	
<p>学校生活をより充実したものとするため、生徒・保護者・教職員に対して、学校教育活動や取り組みに関するアンケートを10月末から11月にかけて実施した。616名の保護者からフォーム作成ツールで回答をいただいた。昨年度より少し回答数が上回ったが、一昨年度までの回答数よりやや少ないためアンケート方法の検討が必要である。</p> <p>◎生徒に対する質問では、「友達関係がうまくいっている(94.2)」「学校行事は充実していて楽しい(95.3)」「学校は部活動に積極的に取り組んでいる(94.3)」などの肯定的回答が例年通り高くなっている。また今年度より新たな質問「学校は生徒1人1台端末を活用している。(89.1)」が追加されており、結果からもタブレットPCを活用した学習が定着していると考えられる。</p> <p>◎保護者の回答から、「友達関係」「学校行事」「部活動が活発」などの質問に対する肯定的回答が90%を超えた。また「他の学校にない特色がある」という質問の肯定的回答も90%を超えており、行事等の参加など学校への関心を高く持っているように感じる。</p> <p>◎教職員の回答結果では、「生徒が意欲を持って授業を受けるよう教え方に様々な工夫をしている」という質問に対して肯定的回答が96.1%であった。「この学校には、他の学校にない特色がある。」の肯定的回答が98.0%もあり、授業の工夫・改善を継続的に行うなど学校の更なる発展をめざし、生徒、保護者、教職員が一つとなり魅力ある学校を作っていきたいと考えている。</p>	<p>第1回(5月23日)の協議 コロナ禍の中、入学して2年間の様子、思いを代表生徒2名(自治会会長及び副会長)の話を聞く機会を設けた。</p> <p>○今年度の重点目標から頂いた意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路実現…生徒個々の学習時間 目標の決定を早めるために情報提供。モチベーションをアップし、家庭学習時間を増やす。 ・保護者と学校のつながりを強化 今年度はPTA活動が活発にできそう。Web会議システムで保護者と教員がつながることもできる。最近はSNSなどで生徒の活動を見ることもできて楽しみ。新カリについては全体への説明が必要。 ・広報活動…音楽科定員割れ 音楽科では、飛沫が気になる声楽・管楽器の受験生が激減した。今年度は説明会・体験活動などの広報に力を入れる。地域とも連携しながら行事を活性化していきたい。 ・教員研修…ICTで教育は変わってきている ICT推進校に選ばれ、研修を複数回行った。観点別評価については、教務部が中心となり、全体で情報共有をした。今後も継続する必要がある。免許更新講習の代わりに研修が必要になってくるので、学校と教育センターで連携をしながら研修計画が必要。 ・その他、スクールミッションに関しても意見をいただき、反映させました。 <p>第2回(11月14日)の協議</p> <p>○これまでの教育活動と学校経営計画進捗状況に対していただいた意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が能動的に学べる授業づくりをしており生徒同士が話し合う環境が整っている。その一方で、少し消極的な生徒も見られた。 ・ICTを活用しているが、表示された内容がすぐ消されることもあり、生徒の記憶に残っているのか疑問に感じた。板書が少ないように見えたのが残念であり、今後工夫して欲しい。 ・今の子どもたちの傾向として、画面を見て覚えるのか書いて覚えるのかどちらなのか疑問に思う。 <p>○学校教育自己診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の肯定的回答が低い項目がある。これは、今年度に限ってのことなのか疑問である。 ・昨年度の質問項目と比べているが、コロナのこともあるので、令和元年度・2年度あたりの数値と比べてもよいのではないかと。 ・1人1台端末の肯定的回答が思っていたより低い。質問は今年度からではあるが、昨年度の方が使用率高かったかもしれない。 ・保護者の結果から、質問4(子どもは授業が分かりやすいと言っている)の肯定的回答が1年生だけ低い。 <p>○スクールミッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな若者を育てたいのか見えにくい。具体的に示すことが必要だと思う。 ・スクールミッション(A・I)からスクールポリシー(U・E)に繋がるようなことばが欲しい。 ・ミッションとポリシーの間の説明が欲しい。 ・夕陽丘高校の生徒が何を獲得(得るもの)するのか具体的に示してほしい。 ・伝統校、音楽科をアピールし、同窓生の宝となるような文章を盛り込んでもいいかもしれない。 ・観点別評価に関連するよう、項目ごとに分けてみてもいいのかもしれない。 ・ポリシーにあるキャリアデザインが各要素の欄に含まれていないのが気になる。 <p><議決事項> 令和5年度使用教科書</p> <p>第3回(2月2日)の協議</p> <p>○今年度の取組み全体についていただいた意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度学校評価(今年度の取組み)については、授業アンケートや学校教育自己診断からも全体的に印象が良く、特に英語教育については力を入れていることから、引き続き維持・充実させていく必要がある。コロナ禍の厳しい状況から少し緩和されてきていることや教員の熱量からも生徒が安心して学ぶことができている。しかし、学校の取り組み方として、コロナ前に戻していくのか、コロナ禍で始めた教育を続けていくのか疑問であるため、ICTの活用や教員の働き方改革などの視点も交えて考えていく必要がある。 <p>○音楽科の定員割れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校パンフレットを置いていない学校があったように思う。HPと紙媒体の両方準備が必要。 ・声楽や管楽器の生徒が減っているが、これはコロナだけの問題ではない。 ・高校入試科目が、夕陽丘は5科目受験に対して他府県は3科目受験である。また夕陽丘合格のためには、学習との両立を必要とするイメージがある。 ・特別選抜(専門的な学科)を受ける生徒が少なく、将来の夢は決まっていなかったが大学に行って就職する思いを持った生徒が多い。 <p>○来年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を真摯に受け止め対応していくことや、観点別評価等の学習指導要領にも前向きに楽しく取り組んでいくことを期待している。遅刻・いじめについても、引き続き生徒、保護者が安心して通える学校にすると共に、国際交流や音楽科の教育を充実させ、夕陽丘らしい特色ある学校にしてほしい。学校経営計画については、スクールミッションの目標から、令和6年度に向けての経営計画を令和5年度から早々に考えていく必要がある。その際、PTA・同窓会も参加し中期的目標をリニューアルしてもよいのではないかと意見もあった。 <p><議決事項> 令和4年度学校経営計画および評価と令和5年度学校経営計画</p>																																	
<p>令和4年度学校教育自己診断 肯定的回答率の高い質問</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>質問項目</th> <th>4年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校行事では学校全体で協力して取り組んでいる。</td> <td>96.7</td> <td>97.5</td> </tr> <tr> <td>学校内で、先生や来客の方にあいさつができています。</td> <td>95.1</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>学校行事は充実していて楽しい。</td> <td>94.3</td> <td>96.6</td> </tr> <tr> <td>学校での友達関係はうまくいっている。</td> <td>94.2</td> <td>95.6</td> </tr> <tr> <td>体育祭や文化祭などの学校行事は活発に行われている。</td> <td>98.7</td> <td>96.2</td> </tr> <tr> <td>部活動は、活発に行われている。</td> <td>94.0</td> <td>92.1</td> </tr> <tr> <td>学校での友達関係はうまくいっている。</td> <td>92.7</td> <td>93.9</td> </tr> <tr> <td>この学校には他の学校にない特色がある</td> <td>98.0</td> <td>97.1</td> </tr> <tr> <td>教育相談体制が整備されており、生徒はクラス担任以外の教職員とも相談することができる。</td> <td>96.1</td> <td>88.5</td> </tr> <tr> <td>生徒が意欲を持って授業を受けるよう、教え方に様々な工夫をしている。</td> <td>96.1</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	質問項目	4年度	3年度	学校行事では学校全体で協力して取り組んでいる。	96.7	97.5	学校内で、先生や来客の方にあいさつができています。	95.1	96.3	学校行事は充実していて楽しい。	94.3	96.6	学校での友達関係はうまくいっている。	94.2	95.6	体育祭や文化祭などの学校行事は活発に行われている。	98.7	96.2	部活動は、活発に行われている。	94.0	92.1	学校での友達関係はうまくいっている。	92.7	93.9	この学校には他の学校にない特色がある	98.0	97.1	教育相談体制が整備されており、生徒はクラス担任以外の教職員とも相談することができる。	96.1	88.5	生徒が意欲を持って授業を受けるよう、教え方に様々な工夫をしている。	96.1	100	
質問項目	4年度	3年度																																
学校行事では学校全体で協力して取り組んでいる。	96.7	97.5																																
学校内で、先生や来客の方にあいさつができています。	95.1	96.3																																
学校行事は充実していて楽しい。	94.3	96.6																																
学校での友達関係はうまくいっている。	94.2	95.6																																
体育祭や文化祭などの学校行事は活発に行われている。	98.7	96.2																																
部活動は、活発に行われている。	94.0	92.1																																
学校での友達関係はうまくいっている。	92.7	93.9																																
この学校には他の学校にない特色がある	98.0	97.1																																
教育相談体制が整備されており、生徒はクラス担任以外の教職員とも相談することができる。	96.1	88.5																																
生徒が意欲を持って授業を受けるよう、教え方に様々な工夫をしている。	96.1	100																																

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標【R3年度値】	自己評価
1 豊かな人間性の涵養と「自主・自律」の心を育む	(1) 基本的な生活習慣の確立、学業等へ主体的・協働的に取り組む。 (2) 安心安全で温もりのある学校づくり	ア 基本的な生活習慣を確立する。 ・あいさつ週間・遅刻週間の実施。 イ あらゆる教育活動において、人権感覚を育成する。 ・生徒向け人権学習の充実 ・教職員向け研修の実施 ・道徳教育の充実を図る。 ウ 学生自治を基本とした学校行事等の実施 エ 地域等との交流活動を実施する。 オ 教育相談体制を充実する。 ・教育相談、支援委員会の機能を充実する。 ・学年会や職員会議等において生徒情報を共有する。 ・食物アレルギー対応マニュアルの周知、校内研修を実施する。 カ 安心安全な教育環境の整備 ・生徒情報の共有やアンケートの実施により、いじめの早期発見・早期解決をめざす。 ・区役所等外部と連携した防災訓練や3SKに係る校内点検を実施する。(防犯・防災を含む危機管理体制の充実)	ア ・遅刻者数の減少 昨年度比 20%減【1900】 ・生徒向け学校教育自己診断における「あいさつ」の肯定率 95%以上【96.3%】 イ ・人権学習等の事後アンケート肯定率 80%以上 ・教員向け学校教育自己診断における人権に関する項目の肯定率 90%以上【94.1%】 ウ ・生徒向け学校教育自己診断における学校行事に関する肯定率 90%以上【96.6%】 ・部活動に関する肯定率 85%以上【92.7%】 エ ・交流活動回数 10回以上【2回】 オ ・生徒向け学校教育自己診断における「先生に相談しやすい」の肯定率 80%以上【87.0%】 ・教員向け学校教育自己診断における教育相談関連の項目の肯定率 85%【88.5%】 カ ・生徒向け学校教育自己診断における「いじめ」に関する項目の肯定率 85%以上【91.1%】 ・実施内容、回数	ア・現遅刻数 1900回 ・95.1% (○) イ：人権学習事後のアンケート肯定率 1年 78% 2年 90.5% 3年 98% (○) ウ：学校行事肯定率 94.3% ：部活動肯定率 90.6% (○) エ：5回 (△) オ：生徒向け肯定率 85.8% 教員向け肯定率 96.1% (○) カ：「いじめ」に関する肯定率 88.6% (○)
2 達成できる力を養う	(1) カリキュラム・マネジメントを確立し、「確かな学力」を育成する。 (2) キャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。	ア 夕陽学委員会が中心となり、総合的な探究の時間「夕陽学」の完成をめざす。 イ 1人1台端末を効果的に活用し、「主体的で対話的な深い学び」を充実する。 ICTを効果的に取り入れ、一斉、個別、協働学習の組み合わせにより、学びの深化を図る。 ウ 自律的な学びを高める。 エ 観点別評価の確実な実施に向けて更に研究する。 ※アからエの実現に組織的に取り組み、それぞれの授業改善につなげるとともに、カリキュラムマネジメントを生かして教科等の業務に取り組むことにより、働き方改革を推進する。 ア 系統的な進路指導の実施 ・学習支援クラウドサービスの有効活用 ・効果的な進路関係行事を実施する。 ・生徒の希望進路実現に向けた意識を高める。	ア、イ、ウ、エ ・生徒向け学校教育自己診断における授業に関する項目の肯定率 80%以上【86.1%】 ・教員向け学校教育自己診断における授業に関する項目の肯定率 95%以上【100%】 分掌・教科等の取組みに関する項目の肯定率 70%【83.9%】 ・授業アンケート 平均 3.3 以上【3.56】 ・1人1台端末等、ICT活用に関するアンケート「課題設定」 85%【88.3%】 「学ぶ力」 90%【90.5%】 「主体性」 85%【86.8%】 ・生徒向け学校教育自己診断における家庭学習に関する項目の肯定率 60%以上【61.8%】 ・校内教員研修の実施(教科・全体) ア ・進路講座実施回数 H31 維持、 ・志望校決定率 70%以上【67.2%】 ・国公立関西 5 私大(関関同立近大) 250名合格【371名】 ・生徒向け学校教育自己診断における進路に関する項目の肯定率 85%以上【84.9%】	ア 85.0% (生徒) 96.1% (教員) 72.5% 授業アンケート 3.59 イ：自己診断 89.1% ウ：60.0% エ ベネッセより講師を迎え観点別評価職員研修を実施し他校の取り組みを共有。 ・観点別評価の教科代表者会議を実施し取り組みや課題、成績算出の注意事項を共有。(○) ア ・例年並み ・68% ・310名 ・91.4% (○)
3 国際的な視野を広げ、グローバルに活躍できる人材を育成する	(1) 多様性の理解と自身のキャリアデザインを考える。 (2) 国内にいながらにして国際交流を体験できる様々な機会を提供する。	ア 海外修学旅行等を実施する。 イ 英語の4技能をバランスよく育成する。 ア 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、国際交流の機会を充実する。 姉妹校：クラークスタウン北高校(アメリカ・NY)、鳳新高級中学(台湾) イ 国際交流の活動(オンラインによる交流活動を含む。)を学校全体で計画的に行う。 ・SDGsをテーマとした講演会を実施	ア ・事後アンケートにおける満足度 90%以上 イ ・英語学力調査のスコア(生徒の8割)：65%【1年未受験,2年 65.3%】 ・英検2級合格者：40名【56名】 ・コミュニケーション英語の英語利用率：50%【70%】 ア ・生徒向け学校教育自己診断における国際交流に関する肯定率 85%以上【75.3%】 イ ・訪問が困難な状況での交流活動の継続実施 ・訪問先受入校との事前事後の交流活動の継続実施 ・SDGsに係る取組や国際交流活動年3回実施【7回】 ・国際交流に係る生徒の取組人数 200人以上【140人】	ア 海外修学旅行実施できず。(△) イ・学力生活実態調査8月英語本校平均/全国平均 1年 67.8% 2年 52.7% ・英検2級：37名 ・英語利用率 70% (○) ア 79.4% (○) イ 8名の留学生を受け入れている。 学校交流(モンゴル・11月) 交流回数 3回 取組人数 250人(○)

府立夕陽丘高等学校

<p>4 府内公立唯一の音楽科設置校として、国内最高の音楽教育を推進する</p>	<p>(1) 国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。</p> <p>(2) 生徒等の企画運営による学内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。</p> <p>(3) 国内及び海外の大学等と連携し交流を促進する</p>	<p>ア 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を実施する。</p> <p>イ 一流の指揮者を招聘して、ザ・シンフォニーホールでの定期演奏会を企画・実現する。</p> <p>ア 校内のヴィオーラホール等を活用して、また、近隣ホール・小学校、地域での音楽会を実施する。</p> <p>ア 大阪教育大学、台湾、オーストリア、ハワイの学校と交流を継続する。</p>	<p>ア ・特別レッスン・公開講座の満足度 100%【100%】</p> <p>イ ・事後アンケートにおける満足度 100%【100%】</p> <p>ア ・校内、近隣ホール・小学校、地域での音楽会の実施回数 6 回以上【6 回】</p> <p>ア ・年間 6 回以上【1 回】</p>	<p>ア. 満足度(肯定的回答)100%特に音楽界の第1線に立つ山田氏、務川氏の講座は外部来校者も多数。(○) イ. 満足度(肯定的回答)100% (○)</p> <p>ア. 校内演奏会4回、ゆうゆうコンサート(小学生のための音楽会)1回、近隣の小・中学校合唱部との交流演奏会1回、定期演奏会実施。JR 大阪駅でも演奏を披露。年度末にも各種 JR のイベントに招聘 (○) ア. 大阪芸術大学との包括連携企画を生徒・教員対象とした講座を2回実施。コンピュータ音楽の授業でもアドバイザーとして連携。ハワイプナホウ高校との交流を継続 (○)</p>
<p>5 広報活動の充実</p>	<p>(1) 広報の在り方を検討する。</p>	<p>ア 1～4の中期的目標の成果を効果的に発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報戦略を検討する。 ・学校説明会の実施 ・「夕陽丘の風だより」の充実 ・夕陽丘マガジンの発行 	<p>ア・広報戦略ワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生対象説明会等の本校生徒の参加数 200 名以上【180 名】 ・掲示板 月 1 回更新 ・夕陽丘マガジンの発行(隔月 1 回) 	<p>2 回のオープンスクール開催 月 1 回程度で夕陽丘の風だより・夕陽丘マガジンの発行 (○)</p>